

令和 5 年度

「運営に関する計画」

大阪市立田島中学校

令和 5 年 5 月 8 日

大阪市立田島中学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

小中一貫校としてスタートして 2 年目となる。

スローガン「I' ll get my dream. We' ll support your dream. ～つかめ 自分の夢 ささえよう みんなの夢～」のもと 4 つの柱「言語力の育成」「性・生教育」「キャリア教育」「読書活動の充実」を軸に今年度も学校づくりを進めていく。

令和 4 年度に課題として挙がった以下の点について、令和 5 年度に重点的に取り組みを進めていく。

【安全・安心な教育の推進】

令和 4 年 12 月末現在、不登校生徒の在籍比率は 9.7%（令和 3 年度 9.6%）。不登校生徒で改善した人数は 5 名と、区役所、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、子ども相談センター等と連携しながら、改善の方法を探っているが、大きな変化はまだ見られていない。一方、12 月実施アンケート「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に答える生徒の割合は、74.1% で、目標値を 4.1 ポイント上回った。（前年度 70%）特に性・生教育事前事後アンケートでは、「自分にはよいところがあると思いますか」で肯定的回答が、7 年生で +7.3%、8 年生で +6.2% に増加し、自尊感情の向上へ期待できる実践であった。

○「生きる教育」をはじめ、すべての教育活動において自己肯定感を高める取組の推進。

○不登校等支援が必要な児童が、落ちついて学習生活できる環境の整備。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

12 月実施アンケート「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」で最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合は 39.5% で、目標値を 9.5 ポイント上回った。10 月の調査から 8.6 ポイント上昇したことからも後半に話し合い等の活動が増加したことがうかがえる。また、GTEC の結果や運動に関する生徒アンケートにおいて、それぞれ目標値を 5.9 ポイント、10.1 ポイント上回り、大きな成果を出すことができた。

○「自分の意見をまとめる・一定の分量を発表する（説明する）・他者の意見を聞き取り自分にフィードバックする」などの活動を取り入れた授業についての研究や研修を継続的に行い、学力向上に繋げていく。

【学びを支える教育環境の充実】

多くの授業で学習者用端末を活用し、生徒は学習者用端末を使って調べ学習や資料の作成、自分の考えをまとめたり、発表したりすることができるようになっているが、生徒アンケートの結果から十分とは言えない。

図書館については、小中合同の図書館の良さを活かしたり、玄関棟ピロティにサテライトライブラリーを開設したり、ブックトラックの活用をしたりするなど、読書環境を整えた。また、ビブリオバトルを全校の取り組みとして実施することができ、学校チャンプ本は、大阪府大会に出場し、決勝まで進むことができた。

しかし、生徒アンケートからは、読書活動が定着していると言える結果ではなかった。

○学習者用端末の活用について、授業や家庭学習での効果的な使用についてシェアするなどさらに活発な活用をめざす。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を、90%以上にする。
- 令和7年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、85%以上にする。
- 毎年度末の校内調査における不登校の生徒の割合を、毎年、前年度より減少させる。
- 毎年度末の校内調査における前年度不登校生徒の改善の割合を、毎年、増加させる。
- 令和7年度末の校内調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、80%以上にする。
- 令和7年度末の校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に答える生徒の割合を、令和3年度より6%増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に対して、最も肯定的に答える生徒の割合を、35%以上にする。
- 令和7年度の大阪市英語力調査の中学校卒業段階でのC E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合を、76%以上にする。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的に答える生徒の割合を50%以上にする。
- 規則正しい生活を身に付けている生徒の割合の指標として、年度末の校内調査における「(平日)毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を令和7年度調査において、85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末の校内調査における「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」に対して、「ほぼ毎日」と答える生徒の割合を、80%以上にする。
- ゆとりの日については、週1回以上設定する。また、学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。
- 令和7年度末の校内調査における生徒1人当たりの学校図書館年間貸出冊数を、令和4年度より3冊増加させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

○年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を、85%以上にする。

○年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。

○年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

○年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、81%以上にする。

○年度末の校内調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、77%以上にする。

○年度末の校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に答える生徒の割合を、前年度より増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

○年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を32%以上にする。

○中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント向上させる。

○大阪市英語力調査におけるC E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を72%以上にする。

○年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を47%以上にする。

学校園の年度目標

○規則正しい生活を身に付けている生徒の割合の指標として、年度末の校内調査の「(平日)毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を、82%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

○年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」の項目について、「ほぼ毎日」と答える生徒の割合を、70%以上にする。

○ゆとりの日については、週1回以上設定する。また、学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。

学校園の年度目標

○年度末の校内調査において、生徒1人当たりの学び回数を、今和1年

3 本年度の自己評価結果の総括



大阪市立田島中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を、82%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、81%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、77%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に答える生徒の割合を、前年度より増加させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>好ましい人間関係や信頼関係を確立する集団を育成する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケート（年3回）および相談申告機能を、1人1台学習者用端末を活用して実施する。 ・ブロック化による学校支援事業で、Q-Uテストを実施し、生徒の実態把握を図るとともに、実態に基づいた指導を行う。 ・区役所、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、子ども相談センター等のいずれかの関係諸機関との連携を週1回以上行う。 	
<p>取組内容②【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <p>性と生を考える取組みを推進する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間各学年1回以上の取組を実施する。 ・生きるチカラまなびサポート事業を活用して、出前授業を実施する。 	
<p>取組内容③【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <p>9年間カリキュラムの目標を「自分らしい生き方を実現するための力を育む」と定めて、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力の育成をする。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きるチカラまなびサポート事業を活用して、出前授業を実施する。 ・校内調査における「将来の夢や目標がある」と答える生徒の割合を、前年度より 	

<p>増加させる。(前年度 61.2%)</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向 2、豊かな心の育成】 芸術鑑賞を通して、豊かな情操や感性を養う。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 事後アンケートにおいて、鑑賞行事について肯定的に回答する生徒の割合を 90% 以上にする。 	
<p>取組内容⑤【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】 不登校等支援が必要な児童が、落ちついて学習生活できる環境を学校内に設置し、学びたいと思ったときに学べる環境を整える。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立田島中学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 32%以上にする。</p> <p>○中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント向上させる。</p> <p>○大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合(4 技能)を 72%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を 47%以上にする。</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○規則正しい生活を身に付けている生徒の割合の指標として、年度末の校内調査の「(平日) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を、82%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力を育成する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロック化による学校支援事業および区の校長戦略支援予算を活用し、英検を全学年で実施する。 ・ブロック化による学校支援事業を活用し、8 年生でリーディングスキルテストを実施する。 ・漢字検定を希望者で年 2 回実施する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 学びサポーター、学校元気アップ地域本部事業を活用し、放課後学習会を実施し、主体的な学びを推進する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則、毎日放課後学習会を実施する。 	
<p>取組内容③【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 小学校高学年の授業に入り、理数教育及び英語教育を推進する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5 年生算数の授業（週 3 時間）および、小学校 3 年生理科の授業（週 3 時間）、 	

小学校 5 年生外国語科の授業（週 2 時間）を行う。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式 2)

大阪市立田島中学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p style="color: red; font-weight: bold;">【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」の項目について、「ほぼ毎日」と答える生徒の割合を、70%以上にする。</p> <p>○ゆとりの日については、週 1 回以上設定する。また、学校閉庁日については、夏季休業期間中は 3 日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては 1 日以上設定する。</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○年度末の校内調査において、生徒 1 人当たりの学校図書館年間貸出冊数を、令和 4 年度より 1 冊増加させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 8、生涯学習の支援】</p> <p>学校図書館を拠点に、学校全体で読書環境の整備・充実を行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビブリオバトルを実施する。 ・昼休み、放課後は、毎日図書館開館するとともに、玄関ホールに図書スペースを設ける。 ・ブックトラックを活用して、学級や校内の図書スペースの本の入れ替えを行い、読書に親しむ環境を作る。 ・校内調査における「読書をしている」と答える生徒の割合を、前年度より 5 ポイント以上増加させる。（前年度 36%） 	
<p>取組内容②【基本的な方向 6、教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>1 人 1 台学習者用端末持ち帰りによる家庭学習の推進</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 人 1 台学習者用端末を原則毎日持ち帰らせ、課題や自学自習に取り組む。 ・授業者全員が 1 回以上、Teams を活用して、課題を与える。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	